

はなみとPAPER

🌸 はなと 🌿 みどりの ① 情報センター広報誌 | 2026.7-12月 [TAKE FREE](#)

特集 ① **すいたのサクラみまもり講座**

21



はなみど探検隊 〇 21 | 今号の表紙 場所: 千里南公園 写真: 東郷 憲志

ソメイヨシノなど春になると約330本のサクラが彩る千里南公園。はなみどで実施している「サクラみまもり講座」のフィールドです。現在は公園の東側、阪急電車が見える一角のサクラをみまもっています。はなみど探検隊は高齢化したサクラの木から生まれた、子孫として残していく枝を観察。今は二人よりも小さいけれど、今後の成長が楽しみです。

すいたのサクラみまもり講座

はなみどでは2022年から、樹木のお医者さん「樹木医」にサクラの観察方法や樹勢回復の処置などを実践的に学ぶ、『サクラみまもり講座』を開催。今回はこれまでの講座を振り返りながら、1年を通してサクラの様子を観察し、回復処置に携わることで、市民の方と一緒にみどり豊かな街を守っていく取り組みを紹介します。

1年を通して関わることでサクラの変化に気づける存在に

毎年開花が待ち遠しいサクラ。公園や街路樹で見られる身近な存在ですが、サクラに詳しい人は意外と少ないかもしれません。『すいたのサクラみまもり講座』は、サクラのことを学び、高齢化や傷んでしまったサクラのSOSに気づきながら、市民のみなさんと一緒に樹勢回復に取り組む講座です。2024～2026年にかけて、千里南公園の東側にある約35本のサクラを見守っています。毎回テーマに沿って安田先生からお話があり、よく観察しながら処置を実施。回を重ねていく中で、受講者さんはどうしたら回復していくかがわかるようになり、サクラへの興味や愛情が深まっているのが印象的です。見て楽しむだけでなく、手入れに関わるうちにサクラの中身がわかるようになってきたと言えます。みなさんも近所のサクラを日々観察してみると、たくさん気づきがあるはずです。



▶ 教えてくれるのは

樹木医 安田邦男先生

服部緑地都市緑化植物園の元副園長。万博記念公園の植栽管理の経験を持ち、樹木医として樹勢回復の実績は千本以上。兵庫県にある国指定天然記念物「樽見の大桜」の回復処置にも携わる。



① だれかに話したくなるサクラの豆知識 ①



サクラ並木が川沿いに多い理由は水害対策

今よりも川が氾濫し、土手が崩壊していた江戸時代。花見客によって自然と土壌を踏み固められるよう、川沿いにサクラの木を植えたのだとか。



なぜソメイヨシノは一斉に散る？

ソメイヨシノは接ぎ木で増やすため、全て同じ遺伝子を持つクローン。それゆえ、その地域で気温の条件が揃えば、いっせいに咲き散っていくのです。



サクラの天敵はクビアカツヤカミキリ

サクラ等のバラ科の樹木に侵入し、枯らしてしまう特定外来生物。侵入のサインは、株元にたまる大量のフラス(糞と木くずが混ざったもの)です。



サクラ風味の正体は？

生の桜の葉や花では、いわゆるサクラ風味はしません。その正体は、桜の葉を塩漬けにすることで生成される「クマリン」という芳香成分です。

1年を通して樹勢回復の取り組み

※季節に合わせて、これらの処置の中から必要なものを繰り返し行います。

4月



- ◎ 幹吹き芽から後継枝を選び、その他の芽をかき取る。
- ◎ 胴吹き枝を切った切り口を保護する。
- ◎ 衰弱した木には空気の通りをよくするエアリーンジェクションを行い土壌改良を行う。

9月

- ◎ 芽鱗痕(冬芽の芽鱗が落ちた痕)を調べて、毎年の成長をチェック。
- ◎ 土壌改良資材、保水剤を施す。

◎ クビアカツヤカミキリについての情報をみんなシェア。見つけたら吹田市公園みどり室に報告する。



12月



- ◎ 幹から二次的に発生する根、不定根の発根をチェック。
- ◎ 幹を中心に数メートル離れて囲むようにいくつか穴を掘り、肥料を施す。
- ◎ 4月に胴吹き枝を切り保護したところの観察と補修。

お手入れを重ねることで見えてきた回復の兆しのサイン



弱っていた木から不定根が出てきたので、不定根をさらに伸ばすためにミズゴケやシートで保護。不定根を太らせ、土壌に誘導させることで樹勢の回復を図ります。



切った枝の切り口の保護を行ったところに、植物の傷口にできる「かさぶた」のような組織「癒合組織」が発達し、切り口がふさがってきていると回復状態にあると言えます。

サクラみまもり講座 ダイジェスト

今年で5年目になる樹勢回復。活動という点が繋がりととなり、少しずつ吹田のサクラが元気になっています。

2022

- 第1回は「不定根づくり」にチャレンジ。
- 第2回には不定根から立派な新しい根を確認。
- 12月開催の第3回には不定根がモシャモシャに発根。



機械を使った土壌改良の実演。



不定根を育てるために水苔や赤玉土で覆い、発根を促す。

2023

- 年間テーマは「元気なサクラをもっと元気に!」
- 剪定した切り口を観察。腐食した部分の除去と再処置。
- 2022年に肥料を施したサクラの若い幹が太くなる。



4月に剪定したサクラの切り口を観察。うまくふさがっていない所は処置を直す。

2024

- 胴吹き枝やコブをきれいにする処置。
- 剪定した枝でサクラの健全度を調べる。
- クビアカツヤカミキリについてレクチャー。



クビアカツヤカミキリの標本やフラスを見ながら害虫問題と向き合う。



穴をあけて施肥。草の根とサクラの根を見分けるのがポイント。

2025

- 新たにみまもるサクラを12本追加。
- 団粒構造にするための土壌改良資材を施す。
- 後継枝を選び、残すための保護。



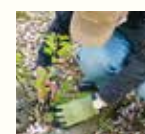
オリジナルの樹高計を用いて、公園の木の高さを測ってみる。



1本1本観察しながら、胴吹き枝のお手入れをする。

2026

- 樹勢回復を手がけたサクラが以前より咲いているのを確認。
- 機械や土壌改良資材を使用した土壌改良。



後世に残したい後継枝を選んで保護。



空気を入れて土を良くするエアリーンジェクション。

はなみどりのアプローチ

プロジェクトやイベントなど「はなみど」のさまざまな取り組みを紹介します。

Event つつつ市@健都レールサイド公園

開催日: 2026年3月14日(土)



「つかう・つくる・つどう」をテーマに、新しい公園のつかい方を研究するちいさなマーケット『つつつ市』。今回は健都レールサイド公園にて、『けんとうすまいるフェス』と同時開催でした。青空の下、季節の寄せ植えワークショップでは、お花の色合わせやバランスを楽しんでいる人や、地元の人気店の飲食ブースや地域と福祉をつなぐ雑貨店で買い物を楽しんでいる人など、とても賑やかなイベントとなりました。



寄せ植えワークショップでは、ブラキカムやアネモネなど春らしい華やかな花を主役にした。



『けんとうすまいるフェス』の「花の植え替え体験」では、植え付け方のレクチャーをはなみどがお手伝い。

Event つつつ市@千里北公園

開催日: 2026年6月6日(土)

今回の「つつつ市」は初めて千里北公園で開催。千里北公園は自然の多い広々とした公園で、ランナーの方や愛犬との散歩、家族連れの憩いの場として親しまれています。今回は日常的に公園を利用されている方が、散歩途中や休憩に立ち寄られる姿が多くみられました。市内で人気の飲食店や雑貨店、植物店では、ゆっくり食事やお買い物を楽しむ人の姿が印象的。自然工作や苔玉づくりのワークショップ、園芸相談では、新たな交流が生まれているのを感じることができました。



すいたみどりのサポーターの会を講師に招いて実施したワークショップ「自然に親しもう」では、メタセコイアの実を使った工作を。



葉っぱの凹凸を活用して模様を写す「こすり出し」。いろんな葉っぱを1枚の紙に写し出すと、葉脈の造形美がうっとりします。



スタッフおすすめの季節の植物を使った苔玉ワークショップ。父の日が目前だったため作った苔玉はプレゼントにする人も。



「植物の名前が知りたい」「育てている植物の調子が悪い」など、身近な花やみどりに関する疑問やお困りごとにお答えする園芸相談。

Event はなみどみどりの日@吹田市花とみどりの情報センター

開催日: 2026年5月4日(月・祝)



みどりの日に、みどりを感じるミニイベント『はなみどみどりの日』を開催。園芸相談に加え、すいたみどりのサポーターの会による「自然あそびワークショップ」や、「母の日の贈り物をつくろう!」をテーマに寄せ植えの講習会を行いました。はなみどに初めて足を運ばれた方も多く、はなみど greenmarket (植物・園芸用品の販売) やはなみど活動について、たくさんの方に知っていただける機会となりました。



感謝のメッセージを添えた、母の日の贈り物をつくる寄せ植え体験。



「自然あそびワークショップ」では、カラミンの葉をかわいいうつくろに。

Lecture お花を選んで寄せ植えづくり

開催日: 2026年3月5日(木)

会場: 花とみどりの情報センター



今年も箕面にある園芸店、Green note...の曾谷先生をお招きし、自分だけのオリジナル寄せ植えをつくりました。まずは鉢を選んで、次にたくさんあるお花からお好みのものを選びます。今回もかわいいお花をたくさん準備していただいて、皆さんどれにしようかと楽しそうに悩んでいました。お花の合わせ方や植え方のポイント、長く管理するコツも勉強になり、充実した時間となりました。

Lecture おそとではなみど

開催日: 2026年5月16日(土)

会場: いずみの園公園



「おそとではなみど」は市内の公園にお出かけ出店するポップアップイベントです。青空の下で、寄せ植えワークショップをしたり、おうちで育てている植物の相談もできます。今回は、これからの暑さにも強く丈夫な花で寄せ植えを行いました。天気も良く5月とは思えないほどの暑さでしたが、少人数で行うワークショップは和気あいあいとした雰囲気、参加者の皆さんも楽しまれました。

はなみど講習会レポートカレンダー

2026 1月 2月 3月



- お花を選んで寄せ植えづくり (3/5)
- 季節の寄せ植えワークショップ (3/14)

4月

- ペチュニアで楽しむ初夏のハンギングバスケットギャザリング 初級・中級 (4/16)
- おやこでてくてくさんぽ (4/19)



5月

- 母の日の贈り物をつくる寄せ植えワークショップ (5/4)
- おそとではなみど寄せ植えワークショップ (5/16)
- 初夏の寄せ植えギャザリング 初級・中級 (5/21)



6月

- 父の日に贈る苔玉づくり (6/6)
- 寄せ植えギャザリング 初級・中級 (6/18)
- シダと苔のテラリウム (6/21)



木とともにだちになる

知ること、あそぶことで、当たり前にある木が身近な存在に！



秋の訪れを知らせる甘く芳しい香り

キンモクセイは、秋になると甘く強い香りで周囲に自身の存在を知らせ、秋にひととき目立つ木です。でも、花の香りが無い時期はかなり地味な存在。花のない時期は、葉の変化を観察するのがおすすめです。若い頃の葉にはギザギザ（鋸歯）がありますが、成長するにつれてそのギザギザはなくなり、縁が波打つようになります。常緑の葉は、硬くごわごわです。春の新葉はトゥルトゥルで、トリートメントをした髪のような手触りなのに、夏ぐらいからはゴワゴワになります。日本にあるキンモクセイは、ほぼ雄株です。そのため花は咲きませんが、ギンモクセイやウスギモクセイのように実を結ぶことはありません。切られても再び芽吹く力を持っていて、かなりしぶとい木です。それでも、新しい葉が伸びる春から梅雨時期にかけては移植が難しく、時期を誤

ると枯れてしまう繊細な一面も。オレンジ色の小さな花は秋に2度咲くことがあり、一度見逃しても再び香りを楽しめるチャンスがあるかもしれません。特に夜間は、近くにいらなくても香りが感じられるほどに強く香ります。その芳香はシロップやグミなど、食用としても楽しむことができます。



▲強い香りとは裏腹に、咲かせる花は小ぶりでつましい。



▲葉脈は裏に突出しており、硬い葉ではあるが厚くはない。

＼ 岩谷先生流 / 木とあそぼう！

昔の人の知恵に学びつつ、今風にアレンジしたあそびをご紹介します。木とあそぶ体験がきっかけで、身近な木とともだちのような関係になれるかも。みどりを大切に思う気持ちがあなたの心に芽生えますように。

キンモクセイグミを作ろう！

材料

- キンモクセイの花 □ハチミツ 50cc
- レモンまたはゆず果汁 適量
- ゼラチン20g □水 150cc



キンモクセイの花は咲きわたる柔らかい花を収穫しましょう。乾いた花は堅くて食感が悪くなります。

▲「上品な味」と好評のキンモクセイグミ。一度冷凍してから少し解凍して食べるのもおすすめです。秋の香りを閉じ込めた手作りグミを楽しんでみてください。

【作り方】

①花の下処理をする



苦味の原因となる柄を丁寧に取り除き、洗って水気を切ります。

②鍋に材料を入れて煮る



鍋にハチミツ、レモン果汁、水を加え、ゼラチンを入れて弱火で溶かします。

③火を止め花を投入



火を止め、キンモクセイの花を投入します。強火で煮ると香りが飛ぶので注意。

④型に流し込む



シリコン型に流し込みます。花がまんべんなく入るように調整しましょう。

⑤冷蔵庫で冷やして完成



冷蔵庫で数時間冷やし固め、型から外せば完成です。

＼ 教えてくれた人 / 岩谷美苗さん



1967年島根県生まれ。東京学芸大学卒業後、森林インストラクター第一期の試験に合格し、女性初の森林インストラクターとなる。1998年、樹木医に。2000年、「NPO法人樹木生態研究会」を設立。現在、「街の木らぼ」代表。「木で笑いが取れたら幸せ」をモットーに、講演・出張授業等を多数こなす。「散歩で見かける樹木の見分け方図鑑」、「木ぐらし手帳」など著書多数。YouTubeチャンネル「樹木医の偏った植生活」配信中。

はなみどアルバム #はなみど



Instagramにて「はなみど」に関する投稿の中から、とっておきの一枚をご紹介します

#はなみど #すいたはなみど #はなみどアルバム

緑豊かな吹田の街で暮らす、あなたのボタニカルライフを発信してみませんか。季節を感じる公園や街路樹の木々、おうちで愛情いっぱい育てているグリーン、思わず見とれてしまうかわいなお花、収穫したハーブや木の実で作るオリジナルのクラフトなど・・・左記のハッシュタグをつけて投稿してください。投稿していただいた中から、「はなみどPAPER」でご紹介させていただきます。



aska_coco

...



イングリッシュローズを花束に。

#ペランダガーデニング #イングリッシュローズ



kai_springerspaniel

...



朝のお散歩。公園で松ぼっくりアート発見！

#公園散歩 #松ぼっくりアート #千里南公園



spica.11_

...



チャイブとイタリアンパセリと、家にあったクリームチーズとくるとみとレモンで、ハーブチーズに。

#herb #ハーブチーズ



usagi_5k

...



開花してます！

#サラセニア #食虫植物



yumi_ta29_

...



多肉植物のちまみち寄せ

#多肉毎 #多肉寄せ植え
#多肉植物のある暮らし



balcony_note

...



ウエストリギア グランディフローラ。環境が合っていないのか年中カールしている葉。でもこの時期だけは毎年お花をつけてくれる。

#ウエストリギア #みどりのある暮らし

🌸 はなと 🌿 みどりの ① 情報センター

阪急南千里駅前 千里ニュータウンプラザ1F 〒565-0862 吹田市津雲台1-2-1 [TEL] 06-6155-1987 [FAX] 06-6831-5087
[開館時間] 10:00~18:00 [休館日] 毎週月曜日、祝日、年末年始 ※祝日が月曜日のときはその翌日も休館

講習会やイベントの最新情報はHPでもご紹介！

HP <https://www.suitahanamido.com>



発行：吹田市花とみどりの情報センター 指定管理者：株式会社日比谷アメニス
取材：吹田市花とみどりの情報センター 編集・デザイン：ondoデザイン室

